

小中学校(校舎・体育館)における耐震補強整備状況及び整備計画(H22.10.1現在)

	棟	建築年度	構造区分	階数	面積(m ²)	Is値	耐震判定	補強後Is	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年度		
大野	北舎	S38-40	R	3	2,818	0.51	B2									耐震診断	実施設計					補強工事	整備済	
	南舎	S46-49	R	3	2,250	0.51	B2									耐震診断	実施設計						補強工事	整備済
小	屋体	S63	S	2	1,034		不要		建築基準法新法のため補強不要															
北	西舎	S53	R	3	1,622	0.57	B2									耐震診断						補強計画	実施設計	補強工事
	東舎	S53	R	3	2,129	0.54	B2									耐震診断						補強計画	実施設計	補強工事
小	屋体	S54	S	1	960	0.50	D2									耐震診断					補強計画	実施設計	補強工事	整備済
西	東舎	S47	R	2	1,410	0.29	D1	0.95				耐震診断	補強計画	補強工事										整備済
	西舎	S54	R	3	1,518	0.29	D3	0.96				耐震診断	補強計画	補強工事										整備済
小	屋体	H3	S	1	1,010		不要		建築基準法新法のため補強不要															
中	普通	S48	R	2	1,518	0.60	D1	1.54	耐震診断	補強計画	補強工事													整備済
	特別	H2	R	2	581		不要		建築基準法新法のため補強不要															
小	屋体	H2	S	1	1,010		不要		建築基準法新法のため補強不要															
南	西舎	S61	R	3	1,752		不要		建築基準法新法のため補強不要															
	東舎	S61	R	3	1,179		不要		建築基準法新法のため補強不要															
小	屋体	S62	S	1	843		不要		建築基準法新法のため補強不要															
東	特別	S57	R	2	1,777		不要		建築基準法新法のため補強不要															
	普通	S57	R	3	1,800		不要		建築基準法新法のため補強不要															
小	屋体	S58	S	1	1,034		不要		建築基準法新法のため補強不要															

大野中	普通	S56	R	3	2,532		不要		建築基準法新法のため補強不要															
	特別	S57	R	4	2,626				建築基準法新法のため補強不要															
	北東	S57	R	4	2,358				建築基準法新法のため補強不要															
	中央	S57	R	3	268				建築基準法新法のため補強不要															
	屋体	S60	R	2	1,877		不要		建築基準法新法のため補強不要															
揖東中	特別	S58	R	3	2,170		不要		建築基準法新法のため補強不要															
	管理	S58	R	1	350				建築基準法新法のため補強不要															
	普通	S45	R	3	1,084	0.42		D3	0.80								耐震診断		補強計画	実施設計	補強工事			整備済
	屋体	S49	R	1	969	0.53		D1	0.86									耐震診断		補強計画	実施設計	認定申請	補強工事	

【整備状況の色分け】
【耐震判定ランク】

- 校舎未整備
 - 校舎整備済
 - 体育館未整備
 - 体育館整備済
- B2 耐震性能はやや劣るので、大地震に対して被害を防ぐための補強が必要と思われる。
- D1 耐震性能は劣るので、被害を防ぐため補強が必要と思われる。
- D2 耐震性能は劣るので、被害を防ぐため相当な補強が必要と思われる。
- D3 耐震性能は劣るので、被害を防ぐため全体的な補強が必要と思われる。